

30歳から始める

目指すは
三十路の星!

ドリフト 修練塾



report — 佐藤 圭

今月の課題

身の程知らず(!?)の バトドリ出場

い よいよ今月で最終回を迎えることになったこの連載。前号で予告したとおり、卒業検定を兼ねてマサと竹ちゃんをバトドリに出す予定だったが、なんとマサが欠席という始末。スーパーGTと日程がダブってしまったらしいんだけどさ……GTにはマサなんて必要ないと思うのは、オイラだけでしょうか？

というところで、マサは問答無用で留年決定！一方の竹ちゃんはいとうと、バトドリ前日の設営後に練習させてみた。すると、わりとキレイに走っているんだ。ようやく教えたことが身についたのかな？

ンに始まり、8の字やサーキット走行、サイドブレーキによるきつかけ作りや振り返しなど、途中クラッシュもあつたけど、どうにか課題はこなししてくれた。「なにも知らない30代のシロートが、1年でここまでできるようになった」というのを、バトドリ参加者に見せられるな、なんて考えていたんだよね。

しかし！マサは欠席。竹ちゃん……情けないことに二日酔い。本業・光電管の設置など、バトドリの計時間係が終わったらダウンしてしまつた。いちおうは慣熟走行もしたんだが、こんな状態でドリフトできるのかよ？

そして本番になっても体調は一向に戻らず、1本目はスピンしまくつてまったくダメ。話にならない。でも2本目は、体調を考えればまずまずのデキだったんじゃないのかな？キチッと進入からドリフトできていたし、アクセルを踏んだままスムーズに立ち上がっていた場面もあったからさ。いつもの暴れん坊ぶりも復活していたけど、ギリギリ合格点をあげられるレベルにまでとめてくれたというワケで、竹ちゃんは無事(でもないけど)に卒業！

さして、最後にこれからドリフトを始める人へアドバイス。マサと竹ちゃんは仕事が忙しいこともあり、月に1回しか練習できなかった。にもかかわらずドリフトできるようになったのは、安全な場所で人に教えられながら練習したからだと思つた。ただガムシヤラに走るより、上手な先輩や仲間教えてもらう、またはスクールなどに参加したほうが上達も早いはず。遠まわりに感じるかもしれないけど、ひとつひとつのテクニックを確実にマスターしていくことがじつは近道なんだ。ドリフトは一日にして成らず、コレが結論！

▼1年間にわたる練習の成果を見せるといっても、練習は月イチだったからね。このレベルでバトドリに参加させるのは、ほかのエントラントに申し訳ないような気も……!?



……ところでマサは？

泣いても笑っても今回がラスト! 1年間にわたる特訓の成果は……!?

チンゴ先生が教える 「こうすればもっと上達する!」

■ドリフト初心者には、「直ドリ」を重点的に練習してほしいな。なぜかというと、直ドリには振り返して使うテクニックも含まれるし、メリハリのある操作が身につけられるからなんだ。その次は「同じラインを走れるようになる」こと。ただリヤを流すだけじゃなく、「ココから流し始めるとアソコに行くはず」ってのを計算して走るんだよ。それができれば中級者かな? さらに上を目指す人には、「セッティング」にこだわってもらいたい。大会ではドリフトできて当たり前。それに加えて速さや迫力が求められるんだ。空気が圧やアライメントをいろいろイジって、トラクションなどの違いを体感してみよう。どう? ドリフトって奥が深いか〜いでしょ?



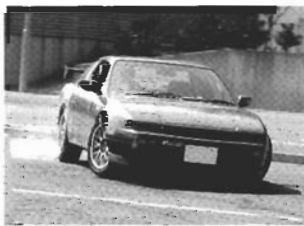
▲走り始めたと思ったら……暴走特急は相変わらず。ま、コレだけのギャラリーを前にしても萎縮しないのは竹ちゃんらしいかもね。



竹ちゃん、走行前に沈没……

▲みんなが慣熟歩行をやっているのをしり目に、竹ちゃんは早くもふて寝? いやいや二日酔いのおかげで、見事に沈没。ミスコースしなかったから許せるものの、皆さんも走行会の前日は早めに休みましょう!

なんとか……ドリフトには……なっている!?



“暴走特急”は練習会を計画中!

■一方この連載でドリフトの魅力に目覚めた竹ちゃんは……なんと、ビギナー向けの練習会を開催予定! スケジュールや場所などはまだ未定だけど、決まり次第発表するので見逃さないでね。「クルマを持っていないけどドリフトしてみたい」という人には、シルビアを貸し出すことも考えているんだって!

留年の坂東マサを鍛えるべく 新連載が次号よりスタート!

■竹ちゃんも卒業できたことだし、これにてドリフト塾もめでたしめでたし……じゃないよ! マサが卒業しないどころか最終テストをサボっちゃった。ということで、マサの性根をたたき直すためにも、基礎の基礎から鍛え上げることにした。今度はドリフトじゃなくグリップで、”ブレーキング”や”ステアリングワーク”など、テーマを絞って解説していく。そして生徒にはもう1名、超がつくほどのビギナーを投入予定。マサはいちおうとはいえレース経験もあるんだから、負けたらシャレにならないぞ! 次号では、まず生徒2人の実力チェックを兼ねてタイムアタックかな?

▶見事(?)に留年が決定したマサ。ま、たしかにスーパーGTと重なっていたら仕方ないかも!? ヴィッツレースなどへの参加経験アリ。



▲ドリフトに引き続き、マサの教育を担当するのは村尾チンゴ先生。ドリフトではかなり手を焼いていたけど、グリップではどうかな?